

# 令和3年度計画進捗状況及び 新型コロナウイルス感染症への対応状況について (令和3年11月4日開催)

1.	令和3年度計画の概要	3
2.	奨学金事業	
(1)	令和3年度計画進捗状況	5
(2)	新型コロナウイルス対応状況	6
3.	留学生支援事業	
(1)	令和3年度計画進捗状況	8
(2)	新型コロナウイルス対応状況	10
4.	学生生活支援事業	
(1)	令和3年度計画進捗状況	12
(2)	新型コロナウイルス対応状況	12
5.	財務・その他	
(1)	令和3年度計画進捗状況	14
(2)	新型コロナウイルス対応状況	14
(3)	大規模自然災害対応状況	14
	〈参考〉ホームページ リニューアルについて	15

# 令和3年度計画の概要 (令和2年度計画からの主な変更点)

赤字は新型コロナウイルス感染症の影響による変更

## 奨学金事業

- ◎貸与奨学金  
＜債権の適切な管理及び返還金の確実な回収＞
  - ・延滞**1年半以上**※となっている中長期の延滞債権について、回収業務をサービサーに委託する。
  - ※延滞の進行を防ぐため回収業務の委託を早期化（2年半⇒1年半）。
- ◎奨学金事業に共通する事項の実施  
＜奨学金制度の周知及び広報の充実＞
  - ・スカラシップ・アドバイザーの派遣について、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、**オンラインによるガイダンスも併行して実施**する。
- ＜学校との連携強化＞
  - ・大学等へ奨学生に対しての説明会を開催するように協力を求める際、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、**オンライン等も活用した実施を依頼**する。
  - ・大学等の担当職員を対象とした奨学金業務に関する研修会について、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、**オンライン等も活用**する。

## 留学生支援事業

- ◎外国人留学生に対する支援  
＜日本留学に関する情報提供等の充実＞
  - ・日本留学に関する情報を日本留学希望者に直接提供する方策として、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から**オンラインを活用した日本留学フェア等の説明会を開催**する。
- ＜日本留学試験の適切な実施＞※
  - ・試験実施にあたっては、**国内・国外会場とも受験料を見直すとともに、効率的な運営により、収支の均衡に努める**。また、**コンピュータ試験実施に向けた必要な準備を計画的に行う**。 ※中期計画の変更に伴い変更
- ＜日本語教育センターにおける教育の実施＞
  - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から**遠隔授業を実施**する。
- ＜学資金の支給等＞
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、**学習奨励費受給候補者の推薦条件や在籍確認方法等に、特例措置を設ける**。
- ＜宿舍の支援及び交流促進＞
  - ・東京国際交流館及び兵庫国際交流会館については、**ランニングコストの抑制が期待される設備の更新に取り組む**。
- ＜卒業・修了後の支援＞
  - ・帰国外国人留学生に対して、**SNSを活用して外国人留学生にとって有益な、機構の留学生支援事業に関する情報など様々な情報を提供する**。
- ◎日本人留学生に対する支援  
＜海外留学に関する情報提供等の充実＞
  - ・「**海外留学支援サイト**」をリニューアルする。また、**オンラインの活用等による海外留学フェア等の説明会を開催し、海外留学希望者のニーズに対応した情報提供に努める**。
- ＜学資金の支給＞
  - ・「トビタテ！留学JAPAN」については、**2022年度以降の事業の在り方について検討**する。

## 学生生活支援事業

- ◎学生生活、学生生活支援に関する情報の収集・分析・提供
  - ・令和2年度に実施した「**学生生活調査**」の結果について、**専門家の協力を得て分析し、情報提供を行う**。各大学等における学生支援の取組状況について、先進的な取組みも含め、実態を把握するために、「**大学等における学生支援の取組状況に関する調査**」を実施する。
  - ・令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、**セミナーの実施にあたってはオンラインを活用**する。
- ◎障害のある学生等に対する支援
  - ・令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、**事業の実施にあたってはオンラインを活用**する。
- ◎キャリア教育・就職支援
  - ・大学等、国、地方公共団体及び企業による情報交換会及び産業界とも連携した専門人材セミナーの実施において、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、**事業の実施にあたってはオンラインを活用**する。

## 業務運営の効率化、財務、その他業務運営に関する重要事項

- ◎学生支援に関する調査・分析・研究の実施
  - ・**学生生活調査**については、**調査方法等の見直しを検討**する。若手研究者等を活用した公募による調査研究（JASSOリサーチ）について実施するとともに在り方について検討する。
- ◎寄附金事業の実施
  - ・**新型コロナウイルス感染症対策助成事業**など、寄附金事業を適切に実施する。
- ◎施設及び設備に関する計画
  - ・事務所等整備に向けて、業務継続性と安全性の確保、業務効率の向上等の観点を踏まえ、**移転及び事務所等の集約化に向けて、具体的な計画を立案**する。
- ◎人事に関する計画
  - ・**令和2年度に見直した人事基本計画に基づき**、多様かつ優れた人材を計画的に確保するとともに、各職員が能力を最大限に発揮できるよう適正に配置する。

---

## 2. 奨学金事業

## 2. (1) 令和3年度計画進捗状況

### 令和3年度上半期の状況

- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済状況の悪化により、想定された課題は以下のとおりであるが、一部課題はあるものの計画達成上の大きな影響は現時点ではない。

区分	想定された課題
①	延滞者の増加 ⇒ 返還金の確実な回収への支障
②	家計急変申請者の増加 ⇒ 処理遅延による適時・適切な支給への支障
③	減額返還・返還期限猶予申請者の増加 ⇒ 処理遅延による迅速な審査結果通知への支障

①について、**延滞者は増加していない**

②について、**新型コロナウイルス感染症事由の申請者は増加していない**

③について、**減額返還・返還期限猶予申請者は増加していない**

### 令和3年度下半期の課題

- 今後、経済状況の動向により、引き続き上記①～③が課題として想定される
- 仮に下半期においても新型コロナウイルス感染症による影響が限定的であり、計画どおり貸与・給付、返還業務が実施された場合でも、回収に係る定量的指標については、前年度よりさらに厳しく設定された目標値の達成に向け、引き続き回収状況への注視が必要  
(総回収率)

令和3年9月末 44.49% (前年同月より0.61ポイント上昇)

現状、回収状況は良好であるが、新型コロナウイルス感染症の影響等も考えられるため、令和3年度計画値※の到達に向けた回収状況については引き続き注視が必要

※中期計画期間(最終年度令和5年度)目標値91.40%と平成30年度実績88.28%の差を按分した90.15%

## 2. (2) 新型コロナウイルス対応状況

### 家計の急変等により学業継続が困難となった学生への支援

#### ・緊急特別無利子貸与型奨学金（継続）

アルバイト収入が大幅に減少した学生等に対して、緊急的に有利子奨学金を実質無利子で貸与（利子を国が補填）

#### ・家計急変世帯への緊急対応（継続）

給付型奨学金において、家計急変後の所得見込みで判定

#### ・貸与型奨学金の期日前交付（新規）

授業料等まとまった資金が必要な場合に、申請があった者に対し、前倒して振り込み

#### ・第二種奨学金による大学等からの奨学金相当額の採用前貸与（新規）

第二種奨学金申込者向けに、採用前に経済的な支援が受けられる仕組みを構築

### 貸与型奨学金の返還困難者への負担軽減策を継続

#### ・返還期限猶予制度の充実（継続）

猶予制度（経済困難事由等）を上限（通算10年）まで利用した方についても申請可※  
(1度につき最大1年延長可)

※令和2年1月～令和3年3月を返還期日とする債権を対象

---

## 3. 留学生支援事業

# 3. (1) 令和3年度計画進捗状況①

## 令和3年度上半期の状況

- ・新型コロナウイルス感染拡大による各国の入国制限等により、令和2年度よりは改善している事項もあるものの依然として様々な影響が出ている状況であり、計画達成にも影響が及ぶ見込み

区分	主な影響	主な対応・対策	
外国人留学生	情報提供	・ 日本留学フェア・説明会等対面イベント中止	・ フェア、説明会等イベントのオンライン化
	日本留学試験	・ 応募者数の減少 ・ 国外実施の中止（一部の国・地域） ・ 一部の大会場の利用中止（国内）	・ IBT（Internet Based Testing）の試行試験を実施 ・ 移動制限を行っている国・地域に対して、受験予定者に特別移動許可証を発行する等の措置を講じてもらえるよう、試験実施協力機関及び在外日本公館と協議 ・ 試験会場に民間施設も利用
	日本語教育	・ 前年度から続く入国制限のため、国費留学生以外の学生は入国できていない状況	・ 来日できない学生への遠隔授業実施 ・ 在日する学生については感染拡大防止のため、夏期休業終了後は感染状況を踏まえて、対面授業と遠隔授業を併用
	学資金支給	・ 渡航制限により留学生の帰国や来日に支障 ・ 留学プログラム中止等多数	・ 国費・留学生受入れ促進プログラムにおいて特例措置を実施（詳細は10ページに記載） ・ 在籍確認等の手続きの柔軟対応
	宿舎支援 交流促進	・ 国際交流会館（東京・兵庫）の入居率悪化 ・ コロナ対策によるコスト増 ・ 対面による交流イベントの中止	・ 入居者の臨時募集対応 ・ オンラインでの代替イベント実施
	卒業後 支援	・ 帰国留学生の来日や研究者派遣に支障	・ オンラインによる研究指導等にかかる特例措置を実施
日本人留学生	情報提供	・ 海外留学フェア・説明会等対面イベント中止 ・ 他機関でのイベント減少等	・ フェア、説明会等イベントのオンライン化
	学資金支給	・ 既採用者及び新規採用者の留学計画中止・辞退の発生（トビタテ）	・ 留学開始期限の再延長及び留学支援の取扱い柔軟化



# 3. (1) 令和3年度計画進捗状況②

## 令和3年度下半期の課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、以下の課題への対応が必要な状況

### 外国人留学生に対する支援業務

#### 【情報提供】

- ・ 対面型イベントの見通しが立たない状況⇒オンラインフェアの結果を分析し、状況に即した効果的な実施方法を検討

#### 【日本留学試験】

- ・ 収支悪化（応募者数減少による収入減少、会場変更に伴う実施経費の増加）

#### 【日本語教育センター】

- ・ 受入れ数や収支悪化
- ・ 遠隔授業の学生にかかる学力向上や進学率、満足度等の懸念

#### 【国際交流会館（東京・兵庫）】

- ・ 収支悪化
- ・ 交流イベントの実施方法の工夫

### 日本人留学生に対する支援業務

#### 【トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム】

- ・ 各国・地域の感染症危険情報レベルの引き上げにより留学計画の実施に影響

# 3. (2) 新型コロナウイルス対応状況

## 外国人留学生に対する支援

### ・国費外国人留学生に対する支援

奨学金支給期間を終了し、本国への帰国を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に起因する交通遮断等により帰国が困難となっている国費外国人留学生に対する特例措置を実施  
渡日直後や、新型コロナウイルス感染症罹患又は濃厚接触等による隔離措置のため在籍確認の署名ができない場合の特例措置を実施

### ・私費外国人留学生に対する支援（留学生受入れ促進プログラム）

渡日直後や、新型コロナウイルス感染症罹患又は濃厚接触等による隔離措置のため在籍確認の署名ができない場合の特例措置を実施  
経済的理由により修学が困難である外国人留学生を対象として、新型コロナウイルス感染症の影響等による特別追加採用を実施予定

## 日本人留学生に対する支援

### ・～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～にかかる取扱いの柔軟化

既採用の派遣留学生に対し、留学開始期限の再延長及び留学支援の取扱いを柔軟化（オンライン環境下での学修開始による奨学金支給）  
2021年度まで延長していた本制度について、渡航できていない学生等が依然多数存在していることから、2022年度までさらに延長

---

## 4. 学生生活支援事業

### 令和3年度上半期の状況

- ・対面イベントのオンライン化により、新型コロナウイルス感染症の影響による計画達成上の問題は特になし。なお、学生生活調査については、速報値の公表や調査方法の見直しを実施し、予定以上の進捗。

区分	主な対応・対策
情報の収集・分析・提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 学生生活調査 大学昼間部速報値の公表</li> <li>・令和3年度 大学等における学生支援の取組状況に関する調査の実施</li> </ul>
障害学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 障害のある学生の修学支援に関する実態調査 結果公表</li> <li>・令和3年度 障害のある学生の修学支援に関する実態調査の実施</li> </ul>
キャリア教育・就職支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー・ガイダンス等のオンライン化対応</li> </ul>

### 新型コロナウイルス対応関連事業

- ・ **学生生活にかかる喫緊の課題に関するセミナー**  
コロナ禍における学生のメンタルヘルス支援を中心に講演・取組紹介を実施（12月）
- ・ **コロナ禍の障害学生支援にかかるヒアリングの実施**  
障害学生への支援を行っている学会・団体にヒアリングを実施（11月）
- ・ **障害学生支援専門テーマ別セミナー**  
「コロナ禍の学びの変化」、「コロナ禍における障害学生支援」をテーマに実施（10月～）

---

## 5. 財務・その他

## 令和3年度上半期の状況（財務・その他）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による計画達成上の大きな問題は現時点ではない

主な影響	主な対応・対策
<ul style="list-style-type: none"><li>・日本留学試験、留学生宿舍、日本語学校等に係る自己収入の減</li><li>・感染症対策による経費増（消毒液、消毒作業等）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・施行状況を踏まえ予算執行計画を見直し（12月）</li></ul>

- ・ホームページを全面刷新し、情報発信を強化（8月）

## 寄附金による助成事業

- ・「**新型コロナウイルス感染症対策助成事業（食・住に対する支援）**」の実施  
民間企業や個人から寄せられた寄附金を原資として、学生生活を送るための食費と家賃や契約時の費用等の住の支援事業を行う大学等に対し、当該支援に係る事業費の一部（1/2以内、10万円～100万円）の額を助成  
(1) 対象となる学校：大学、大学院、短期大学、高等専門学校（4・5年）、専修学校（専門課程）、日本語教育機関等  
(2) 助成実績：310校、約1.9億円の交付を決定

## 大規模自然災害対応

大規模自然災害発生時においても、JASSO災害支援金等の緊急支援を実施

# 〈参考〉 ホームページ リニューアルについて



## 新ホームページのポイント

情報への到達のしやすさ、探しやすさを実現するため下記の改善を実施

- ・事業別（「奨学金」「留学生支援」「学生生活支援」）の入口に加え、目的別及びユーザ別の入口を新設
- ・デザインとスマートフォン表示の最適化
- ・検索・FAQの機能性と操作性を向上させ、AIチャットボットを導入

## ホームページアクセス件数

令和3年9月：7,989,996  
令和2年9月：7,214,693